

らく、死の直前まで、星とのつながりを保つてゐたことだらうと思ふ。此の意味に於て、誠に幸福な一生だつたと言へると思ふ。

Miss Cannon の交際好きは有名で、どんな會合にも必ず顔を見せて賑かにしてゐる。ダンス・パーティなんかにも、ちやんと出て来て、若い者の踊るのを嬉しさうに眺めてゐるといふ有様であつた。勿論、自分では“もうだめだ”と言つて、人が勧めても踊りはしなかつたが、唯一度、Gaposchkin が無理に引張り出したので、少し歩いてみたことがあつた。ピクニックなどにも、我々と一緒に掛けて行く。天文臺が自分の家であり、我々が子供であり、孫であつた。私は、幸か不幸か、死去の際は居なかつたのであるが、恐らく、その“子供”だの“孫”だのに見守られて、何の思ひ残すところもなく、世を去つたものと想像してゐる。

老齡であつたから、勿論若い者と同じ様に朝早くから夕方迄天文臺で仕事をしてゐる程でもなかつたが、それでも、10時頃には出掛けて来て、何時間か仕事をしてゐた。最近でも、ずつと Henry Draper カタログの續編を作つてゐたのであるが、経験と熟練とに依つて、高齡と雖も以前と變りない業績をあげてゐた。普通の星のスペクトルであれば、殆ど一見して、4,5秒でその型を決定出来るし、少し變つたものでも、30秒もかゝれば、充分だと言ふことであつた。斯くして、現在までに30萬に餘る星のスペクトル型を決定して、天體物理學の糧を作つたことは、天文學への主婦として餘りにも立派な功績であつた。

こんなことを書いてゐる中に、私は天文學史上、有名な女流天文學者としてウイリヤム・ハーシェルの妹カロリンを思ひ出した。そしてハーシェルを助け、當時の天文學への主婦として、あの輝かしい業績を残したカロリンは恐らく Miss Cannon の様な人柄であつた様な氣がしてならない。今、カロリンと並び數へてよいだらうと思ふ Miss Cannon についても、我々の死後、その人柄を傳へ聞かす人がなくなつても、あの Henry Draper カタログを繙く人は必ず Miss Cannon の人柄の何物かを感じるに違ひなからうと思ふのである。

(本號口繪参照)

(終)

正 誤 表

第244號(昭和16年十月號)	誤	正
第320頁	下より8行目の英文	arc:
第322頁	下より7行目以下7行は同頁上より5行目と6行目との間に入れる。	are:
第326頁	黒點報告の日數と平均、寺崎氏は15日64個、竹内氏は8日70個、坂上氏は3日78個、と訂正。	
第(357)頁	14行目、海王星表	81日9時
〃	15行目、冥王星	夕の中天に在り
第(358)頁	下より5行目、金星の視直徑	時20.2''
		31日9時
		曉の中天に在り
		未20.2''